

NewsRelease

岩谷産業株式会社 広報部

東京本社 〒105-8458 東京都港区西新橋3-21-8 TEL. (03) 5405-5851
大阪本社 〒541-0053 大阪市中央区本町3-6-4 TEL. (06) 7637-3468

2024年4月11日

環境省より「エコ・ファースト企業」に認定

CO2フリー水素サプライチェーンの構築や循環型社会を推進

岩谷産業株式会社（本社：大阪・東京、社長：間島寛、資本金：350億円）は、2024年4月10日、環境省が企業の環境活動を推進する「エコ・ファースト制度」において「エコ・ファースト企業」として認定されました。

当社は、昨年6月に発表した新中期経営計画「PLAN27」の中で、2030年の姿を『「住みよい地球」の実現に貢献し続ける企業グループ』と設定し、CO2フリー水素サプライチェーンの構築や循環型社会の推進に取り組むとともに、すべてのステークホルダーとの関係構築・深化を図り、社会的責任を果たすことを目指しています。

今回、こうした取り組みを以下の4点にまとめ「エコ・ファーストの約束」として宣言し、環境先進企業として認められました。

【エコ・ファーストの約束（概要）】

1. 自社の排出するCO2削減を進めるとともに水素事業などの拡大を通して脱炭素社会を目指します。
2. 子どもたちの地球環境への関心と社員の環境意識の向上に取り組んでいます。
3. 環境金融を活用し、CO2フリー社会への移行を進めます。
4. 地球環境の保全を目指した取り組みを積極的に進めます。



認定式の様子

（左：岩谷産業株式会社 代表取締役 社長執行役員 間島寛、右：環境副大臣 八木哲也氏）

【「エコ・ファースト制度」について】

2008年4月にスタートした「エコ・ファースト制度」は、企業が環境大臣に対し、自らの環境保全に関する取組を「エコ・ファーストの約束」として宣言し、その取組が「先進的、独自のかつ業界をリードする事業活動」である場合に、環境大臣が認定する制度です。



エコ・ファースト・マーク



エコ・ファーストの約束

～環境先進企業としての地球環境保全の取り組み～

環境大臣

伊藤 信太郎 殿

2024年4月10日

岩谷産業株式会社
代表取締役 社長執行役員

問 鳥 寛

創業100周年を迎える2030年の姿を「住みよい地球」の実現に貢献し続ける企業グループとし、CO₂フリー水素サプライチェーンの構築や循環型社会の推進に取り組むとともに、当社を取り巻くすべてのステークホルダーとの関係構築・深化を図り、社会的責任を果たしてまいります。

1 自社の排出するCO₂削減を進めるとともに 水素事業などの拡大を通して脱炭素社会を目指します。

- 当社グループは、日本政府が掲げる2050年カーボンニュートラルに賛同し、そのマイルストーンとして、国内で当社グループが排出するCO₂について2030年度に、「太陽光パネルの設置」、「産業ガスプラントにおける冷熱利用の促進」、「再エネ電力（コーポレートPPA含む）への切り替え」、「J-クレジットの活用（燃料転換等で削減できたCO₂排出量を当社で環境価値化）」、「非化石証書の活用」により、2019年度比で50%削減（2030年度 CO₂排出量109.5千t）することを目指します。
- 2030年水素社会の実現に向け、脱炭素関連の需要拡大を捉えた、液化水素ビジネスの拡大、並びにCO₂フリー水素サプライチェーンの構築を進めます。2030年度の水素関連売上高2,000億円 水素販売量30万t/年を見据え、中期経営計画「PLAN27」において、水素関連投資として5カ年累計で1,780億円と計画するとともに、水素関連売上高920億円 水素販売量3万t/年の達成を目指しています。
- 脱炭素社会の実現に向け、低・脱炭素ソリューション事業の推進と供給体制構築・商品開発などへの投資を進めます。中期経営計画「PLAN27」において、5カ年累計投資額150億円を計画するとともに、脱炭素関連売上高1,700億円の達成を目指しています。
- 当社は、TCFD提言に賛同し、TCFDのフレームワークを活用して、気候変動に係るリスクと機会を評価・特定した上で、その対応を検証するとともに、情報を適切に開示していきます。

2 子どもたちの地球環境への関心と 社員の環境意識の向上に取り組んでいます。

- 「住みよい地球がイワタニの願いです」という企業スローガンのもと、2010年から全国の小学生を対象に「住みよい地球」をテーマとした全国小学生作文コンクールを実施しています。今後も、本コンクールを通じて、地球環境やエネルギーに対する子どもたちの関心を高めていきます。
- 社員の環境意識向上のため、新入社員・管理職向けの環境教育ならびにeラーニングを使用した全社員向けの環境教育を実施しています。

3 環境金融を活用し、CO₂フリー社会への移行を進めます。

- 当社は、2021年12月、国内で初めて水素ステーション建設資金を資金使途としたグリーンボンドを発行しました。グリーンボンドの発行による資金を水素ステーション建設に活用し、水素エネルギー需要を創出することで、CO₂フリー社会への移行を進めてまいります。

4 地球環境の保全を目指した取り組みを積極的に進めます。

- 「イワタニグループ環境憲章」および「岩谷産業 環境方針」を制定し、ISO14001規格に沿った環境マネジメントシステムを運用することで、地球環境の保全を目指した取り組みを積極的に進めています。

岩谷産業株式会社は、上記の取り組みの進捗状況を確認し、その結果をホームページなどで定期的に公表するとともに、環境省へ報告します。

Iwatani

Iwatani